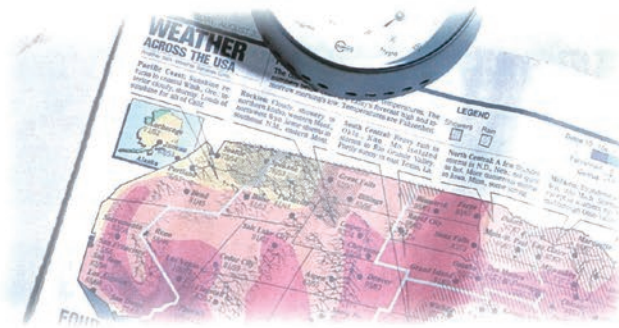


What's New? / News

What's New? / News



拠点大学方式による日韓学術交流セミナー開催

豊橋技術科学大学は国際交流をさらに強化し、世界に開いた大学を目指すことを大学の運営基盤の一つとして取り組んでいる。その一環として、本学（国内協力大学 31 大学）は韓国技術教育大学（韓国内協力大学 40 大学）との間に、「次世代半導体の設計・製造・設備技術と新材料の研究」に関するテーマの下に、日本学術振興会の拠点大学方式による学術交流を平成 11 年度から行っている。本年は、第 1 回セミナー「次世代半導体開発に関する課題と問題」が、7 月 31 日、8 月 1

日の両日、本学ならびにホテル日航にて開催された。第 1 日目には、学外有識者からなる外部評価委員会も開催され、今後の更なる発展に関する貴重な意見を多数頂いた。

7 月 31 日の開会式には、両拠点大学ならびに日本学術振興会を代表して、後藤学長、金光宣韓国技術教育大学大学院院長、加藤寛一郎日本学術振興会理事が、それぞれ挨拶を述べた。日本学術振興会からは、中島健次地域交流課長も出席した。引き続き、菊池 健前日本学術振興会理事長が、「日本学

術振興会の学術交流—回顧と展望」についての講演を行い、小宮山 宏東京大学工学部長が、「知の構造化」のテーマにて講演を行った。翌日のセミナーでの研究発表件数は 60 件に上り、100 名以上の参加者があり、日韓の研究者の間で活発な研究討論が行われた。これらの研究成果をまとめた研究発表講演集が刊行されている。なお、この講演集は研究協力課に保管してありますので、必要な方はご連絡下さい。

外部有識者評価委員会出席者（50 音順）

- 小宮山 宏（東京大学工学部長）
- 西永 頌（名城大学教授、東京大学名誉教授）
- 廣瀬 全孝（広島大学教授）
- 松波 弘之（京都大学教授）
- 安田 幸夫（名古屋大学教授）

